

にほんご未来塾（地域未来塾）【西条市】

～ 子どもの学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 日本語を母語としない児童・生徒に対する日本語指導を行い、地域や学校で円滑な日常生活が送れるよう支援を行う。
- 児童・生徒の学習指導と学習支援を行い、学校での学習理解の促進を図る。

活動場所	西条公民館	対象児童・生徒	未就学児・小学生・中学年・高校受験生・高校生	対象学校区名	西条市内小中学校 西条高校	
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	28	日	毎週水曜日	15 : 00 ~ 17 : 00	
	土・日・休業日等	3	日	夏季休業中の月～金	9 : 00 ~ 12 : 00	
児童・生徒の平均参加人数	9	人/日	学習支援員	6	人/日 教員OB	
教育活動サポーターのべ人数	0	人		ボランティアのべ人数	1	人
活動内容	日本語の読み書き・学習内容の指導、宿題や予習・復習の支援、学習習慣の育成、学習相談等			参加者募集	関係小学校への周知、外国籍の保護者からの紹介など	

取組の概要

<主な取組内容>

- 基本的な生活習慣を身につける
始めと終わりのあいさつ、言葉遣い、学習のしかた、掃除などを通して基本的な生活態度が身につくように指導している。
- 言葉の獲得
絵カードや絵、写真等を用いて身近な言葉から覚えさせている。またマンツーマンによる対話方式でゆっくりお話ができるようにしている。
- 音読の重視
ひらがな、カタカナ・漢字を視覚的に捉え反射的に読めるようになるための音読をくり返すことを重視している。
- 個々の児童につく支援員を固定し、その子の心理状況を観察しながら意欲を喚起し、学習習熟度に応じた指導を行っている。
- 心の支援
一人一人との会話を心掛けて日々の様子を把握し、困りごとや願い等の相談に乗っている。くつろいだ場となるよう温かな人間関係づくりに努めている。



児童・生徒の感想

・先生が優しく、わかりやすく教えてくれる。わからないことは何でも聞ける。

<特色ある取組>

- 日本での生活期間が一人一人まちまちで、日本語能力、学力にも大きな違いがある。そのため、個々の児童につく支援員を固定し、その子の心理状態を見ながらマンツーマン指導を心掛けている。その結果、両者の信頼関係も増し良好な学習環境となっている。
- 日本での滞在年数の割に日本語能力、学力に芳しい成長が見られない児童については、支援員間で協議しながら低学年の基礎学習に時間を割くようにしている。



(マンツーマン指導)

事業を実施して

【成果】

- 毎回はじめに子ども達によるルール確認をすることで、持続して学習に取り組めるようになった。
- 宿題を終えるだけでなく、日々の授業で分からないことを教えてもらえるという安心感、期待感を持つようになった。
- 個々の児童について学校と定期的な連絡会を設け、円滑な情報交換と連携ができています。

【課題】

- 日本語のハンディによる様々な遅れを埋めるには、週1回の学習時間では短い。
- 高学年児童に対する補充指導の必要性
- 個に応じた指導方法、及び教材等の作成や開発